

ふき指導案

チーム四小

青 梅 第 四 小 学 校
授 業 改 善
5年

10月8日(水)6時間目

国語 「和の文化を受けつぐ—和菓子をさぐる (4/6)」

本時のねらい

◎要旨をまとめることで、内容理解を深める。(思考力・判断力・表現力)

本時のこだわり

○要旨作りです。1学期同様、いない部分を消す作業から要旨を作ることを定着させられればと思います。

段階	学習活動	指導(○) 支援(▲) 評価(☆)
	1. 要旨について振り返り、学習の見通しをもつ。	○既習事項を想起させ、要旨を「考えたい」という気持ちを高めさせる。
	要旨をまとめ、文章がどんな内容なのかを表そう。	
 	展開1 2. 文章の構成を振り返る。 3. 要旨を100字程度でまとめる。	○筆者の主張と大体の内容が入るものが要旨であるため、読むべき場所は結論である16、17段落であることを押さえる。 【焦点化】 ▲16、17段落のみが書かれた、マス付きのプリントを活用することで、考えを焦点化するとともに、字数を数えやすくする。 ○「考えたい」を高めさせるため、個人、ペア・トリオを選択して活動できるよう設定する。 【選択型の学習】 ☆要旨のまとめ方を理解している。 (観察・発言・記述)
	展開2 4. まとめた要旨を共有する。	○違うペア・トリオと確認→全体の流れでまとめた要旨を共有する。 ○全体共有の場では、いくつかの要旨から共通する言葉に着目させ、要旨で取り入れるべき言葉を理解させる。 ☆文章がどんな内容なのかを表している。 (観察・発言・記述) ○それぞれの要旨を統合し、この文章がどんな内容であったといえるかを確認する。
まとめ	5. 学習内容をまとめる。	○要旨のまとめ方を振り返るとともに、本文の要旨の内容をふくめたまとめをノートに書く。